

(広報資料)



令和 4 年 5 月 3 1 日
京 都 市 環 境 政 策 局

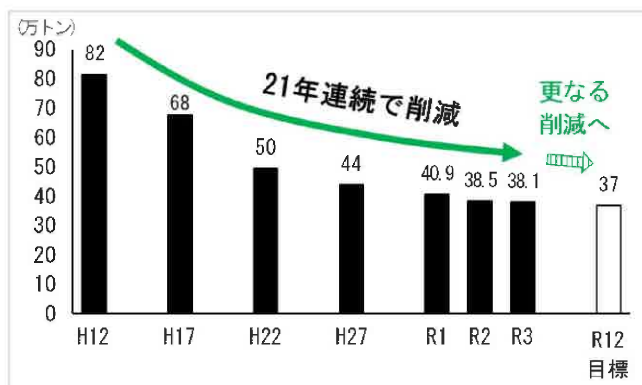
〔担当：循環型社会推進部資源循環推進課〕
TEL：075-222-3946

令和 3 年度のごみ量について

令和 3 年度のごみ量（市受入量）は、これまでの長年にわたる市民・事業者の皆様
の御尽力の結果、ピーク時（平成 12 年度，82 万トン）から 21 年連続で減少し，
38 万 1 千 333 トン（対前年度比▲0.4 万トン，対前年度比▲1.1%）となりました。

令和 3 年度のごみ量の減少は，事業ごみが新型コロナウイルス感染症の影響で大幅に
減少した令和 2 年度と同水準で推移している中，燃やすごみが減少したことが大きな要因
となっています。

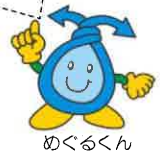
今後は「京・資源めぐるプラン」に基づき，引き続き市民・事業者の皆様とともに，
ごみの発生抑制や資源循環を推進し，持続可能な循環型社会の構築を目指してまいります。



■ 令和 2 年度の 1 人 1 日当たりのごみ量
・家庭ごみと事業ごみの合計※は 759g
・家庭ごみは 404g
共に、政令市及び人口 50 万人以上の都市で最小！

■ 令和 3 年度の 1 人 1 日当たりのごみ量は，
家庭ごみが 399g とさらに減少！

※ 市受入量（家庭ごみ，事業ごみ）のほか，
集団回収量を合算



	ごみ量				増減比較			
	平成 12 年度 （ピーク時）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	ピーク時比		令和2年度比	
					増減量	増減率	増減量	増減率
家庭ごみ	35 万 t	21.2 万 t	21.6 万 t	21.1 万 t	▲13.3 万 t	▲39%	▲0.4 万 t	▲2.1%
うち、燃やすごみ	32 万 t	18.3 万 t	18.4 万 t	18.0 万 t	▲13.5 万 t	▲43%	▲0.4 万 t	▲2.2%
うち、資源ごみ	2 万 t	2.3 万 t	2.6 万 t	2.6 万 t	+ 0.8 万 t	+48%	▲0.02 万 t	▲0.9%
事業ごみ	47 万 t	19.7 万 t	16.9 万 t	17.0 万 t	▲30.1 万 t	▲64%	+0.03 万 t	+0.2%
市受入量（総合計）	82 万 t	40.9 万 t	38.5 万 t	38.1 万 t	▲43.4 万 t	▲53%	▲0.4 万 t	▲1.1%

（注 1）一部，四捨五入の関係で各値と合計値（増減値）が一致しないことがある。

（注 2）家庭ごみには，燃やすごみ，資源ごみのほか，大型ごみ，街頭ごみ，不法投棄ごみなどがある。



ごみ処理コストの大幅な削減も実現！ ⇒ピーク時比△1 3 3 億円／年

（平成 14 年度 3 6 7 億円⇒令和 2 年度 2 3 4 億円）

<主な内容> ・ クリーンセンター（清掃工場） 5 箇所 ⇒ 3 箇所

・ 家庭ごみの収集車両稼働台数 2 5 8 台／日 ⇒ 1 8 7 台／日